

# 国際学部

国際教養学科

## 国際学部での学び

国際学部では、グローバル化社会で起こるさまざまな事象を理解し、自分に何ができるかを考える人を育てます。日本と東アジアに軸足を置きつつ、世界を幅広く視野に入れること、言語・文化・社会の多様性を学び、解決すべき課題を発見することを重点に学びます。出身国や専門分野の違いを越えて、複数の言語を使いながら協力する教員たちに接することで、グローバル化社会の縮図のような、国際を身近に感じられる環境を提供します。

### 言語を“使える”レベルをめざす

英語・中国語・韓国朝鮮語のいずれかを3年間継続して学び、実践力を身につけます。また、3系統の専門科目から興味に合わせて選択でき、日本語教員基礎資格も取得できます。

国際学部をもっと知る



## Admission policy

入学者受け入れの方針  
アドミッション・ポリシー

1. 東北学院大学の教育理念である「キリスト教による人格教育」を基礎とする教育プログラム（聖書とキリスト教に関する授業及び大学礼拝など）について理解し、主体性を持ちつつ多様な人々と協働して学ぶことを強く望んでいる。（主体的に学ぶ態度）
2. 国際学部の教育理念・目的や教育内容を理解した上で、国際化に関する社会事象を学ぼうとする関心と意欲を持ち、人間と社会が抱える諸問題を解決するための主体的な学びを強く望んでいる。（主体的に学ぶ態度）
3. 高等学校における学習によって、国際学部での学修に必要な高等学校卒業相当の基礎的知識及びそれらを応用する力を有している。（知識・技能）

4. 高等学校において得た知識・技能を活用し、達成すべき水準の思考力及び日本語力を用いて、大学での学びに関わる基礎的・一般の問題及び質問に文章及び口頭で答えることができる。（思考力・判断力・表現力）

以下の項目に該当する者については、5又は6を評価に加える。

5. スポーツや文化活動などで優れた実績を残し、本学入学後も課外活動の活性化に貢献しようと考えている。（知識・技能/主体的に学ぶ態度）
6. 外国人留学生、帰国生、社会人として、大学における学修にそれぞれの強みを生かそうとしている。（知識・技能/主体的に学ぶ態度）

「教学上の方針」の詳細は  
こちらからご確認ください



# 国際教養学科

## 「ことば」を学び、理解・表現し、得られる教養

教員の約4割が外国籍、性別も男女同数と、国際化とジェンダー平等の最先端を行く環境で、英語で行われる授業も用意。「ことば」に加え、多様な「教養」を身につけます。



国際教養学科を  
もっと知る



### 専門分野

#### 言語と多文化共生

言語や文化の比較を通して日本語と日本文化を相対的に理解し、言語と社会の関係や多文化共生について考察します。また、言語政策や日本語教育についても学びます。

#### 東アジア研究

中国、韓国・朝鮮、そして日本が互いの関係性の中で辿ってきた道や現在抱える問題を理解します。また、文化を通じた良き隣人としての新しい関係性構築について考えます。

#### グローバルスタディーズ

国際関係の成り立ちや国際ビジネスの現場において生じる問題を理解し、日本や世界が直面する問題への対処法を考えることができる能力を身につけます。

最新の  
学科担当  
教員は  
こちら



### Topics

#### 学科の特色1

## 東アジアと日本の関係から 世界を見る目、世界から見る目を養う

日本で当たり前のことが、他国でもそうとは限りません。日本と他国の関係や立場を知り、日本から見た他国だけではなく、他国から見た日本を知っておくことは、地球を舞台にして生きていこうとするならば重要です。ヨーロッパなど西洋から見た日本は無自覚のうちに意識しつつも、近隣の東アジアから見た日本を意識する人は少ないかもしれません。東アジアコースには、アジアにおいて日本はどのような存在なのかを知的に理解し、過去の歴史を踏まえた上で東アジアの未来を共に拓くための知恵を学ぶ科目が用意されています。



### Topics

#### 学科の特色2

## 高まる日本語教育へのニーズ 外国人留学生と一緒に学ぶ

本学科では、日本語を外国語として教えるための基礎的知識・技能を認定する「日本語教員基礎資格」を取得できます。最初に履修する「日本語のしくみ」で日本語について分析しながら特徴を理解し、「日本語学Ⅰ」「日本語学Ⅱ」で知識を深めます。「社会言語学」「共生言語学」「異文化コミュニケーション論」なども履修し、また、日本語教育の歴史や現状、指導方法などの専門知識を得た上で、4年次に日本語学校などで教育実習を行います。日本語や日本の社会や文化に興味を持つ留学生も数多く受講しています。



## グローバルな視点が自然と育まれる環境 「ことば」を学び、多様性に触れる日々

### 1年 齋藤 里帆 さん (宮城県/仙台南高等学校出身)

カナダに滞在した際に、異文化理解や多文化共創について学びたいと思って志望しました。高校の勉強と違うのは、興味のある授業をどんどん履修できること。さまざまな分野を学ぶうちに自分の世界が広がり、この違っていて何だろう、日本に置き換えたらどうだろう、と疑問が湧いて、物事の背景や関係性が見えてくることに楽しさを感じています。

必修英語に加えて中国語を学んでいます。外国籍の先生が多く、韓国人の先生から日本語学を教わって日本語のおもしろさに気付いたり、「国際学概説」では、先生が毎回替わって文化の違いや共通項を見いだしたりと、「国際」に触れる日々です。留学生と一緒に学ぶ機会もあり、私も留学したいと考えています。航空業界をめざしていますが、最終的には空港で訪日外国人を迎え、日本の良さを伝える仕事がしたいです。

